

もろみ酢で新提案

沖国生 おいしい飲み方調査

芝生広場横駐車場の第2会場・市町村コーナーでは、沖縄国際大産業情報学部の吉田愛さん(21)ら学生4人がもろみ酢のジュース割りを配り、おいしい飲み方を調査している。

宮森正樹教授のゼミ生でマーケティングを専攻、もろみ酢の販売戦略を研究テーマに活動している。今回、もろみ酢公正取引協議会(松田亮会長)の支援を得て新たな飲み方を調べ、幅広い世代でもろ

み酢の認知度を上げ、販売促進の方法を考える。

会場では石川酒造(西原町、仲松政治社長)の黒糖を加えたもろみ酢「むるんさんスイート」の提供を受け、リンゴとシークワーサー2種類のジュースで割った新しい飲み方を提案した写真。

調査ではもろみ酢を飲んだ経験や、どのジュースが飲みやすかったかなどを聞き取った。吉田さんは「もろみ酢をよく知らない人にも楽しんでほしい」と話している。

